

# 開教 80 周年に向けて 記念事業 実行委員会からの発表 第3弾！

6月29日、教母様御誕生祭 祝宴第二部 では「開教 80 周年に向けて」の発表が行われました。今回の第3弾では大西晶也氏が自己紹介を兼ねて体験を語りました。ここではその内容を掲載します。進行役は小坂裕美子さん。

## 体験の紹介 信仰の基本「家族信仰」、揺るぎない「信念」そして「感謝の心」が大切

体験 大西晶也氏

兄、来世へ旅立つ前に教母様に直接御挨拶に伺う

私の兄は幼少の頃、天然痘予防接種の薬害にて障害を負いました。自宅に来ていたお茶の訪問販売員の紹介で神霊教を知り、昭和50年、私が3歳の時に家族4人で御縁を頂きました。当時は、旭川教会が建立前だったので、市の郊外の遙拝所にて家族で毎日参拝していました。

昭和58年、兄が15歳の時、突然兄が号泣したことがありました。それから約1週間後の夜、1時間おきに「今、何時？」と兄が言っていました。そして翌日の昼、兄があまりに静かだったため両親が医師を呼ぶと、静かに息を引き取っていたのです。兄は死後硬直もない安らかな最期でした。また、兄の転生直後、教会に連絡する前に教母様よりお電話を頂き、「大西さんの息子さんが来たわよ。私の所に挨拶をしていったわよ」とお話しくださいました。教祖様の御神力に導かれて、兄の霊が来世へ旅立つ前に教母様に御挨拶する機会を賜ったものと思います。そして、兄が号泣したことや、時間を確認していたことは、転生を悟り、これから良い所へお導きいただく気持ちの表れだったと、後から気付きました。

### 父、無意識のうちに死期を悟り、全てお導きいただく

父は高校の教諭で、教育熱心な情熱家でした。神霊教に入信してからは強い信念をもって信仰し、勤務先の学校は仏教系でしたが、教え子を神霊教に数名お導きしています。父は大変頑健で病院と縁はなかったのですが、退職後の平成22年、突然咳き込むようになり、病院で診察したところ、肺炎の一手手前で、また糖尿もあり入院しました。特に治療を受けることもなく1カ月で退院でき、退院翌日はドライブがてら夫婦で知人、友人宅へ挨拶回りをしたそうです。帰宅後2人でテレビを見ていた際、トイレから戻らない父の様子を母が見に行くと、壁にもたれて息を引き取っていたそうです。父は前日まで入院していた病院へ搬送され死亡診断書もスムーズに作られました。父は無意識のうちに死期を悟り、全てお導きいただいたのです。父はまるで笑っているような幸せそうな表情をしていました。



大西氏の実家から70mほどの距離にある旭川教会



平成24年開催された札幌支部のイベント



昭和60年当時の札幌教会

## 経験の全てが教団の仕事に生かせる

私は、幼少の頃から健康で仕事が好きでした。相撲やプロレス等の格闘技に魅

了され、中学、高校と柔道部に入部しました。また、高校では「ハガキネタ投稿」にはまって地元のローカルラジオ番組に面白いネタを書いて投稿し、2年間で100通採用されました。

1浪して東京の大学に進学。就職活動時はちょうど就職氷河期で、私も就職浪人になりましたが、新聞の求人欄を見て応募したアパレル会社に採用が決まりました。本社へ配属されましたが、職場はいつも怒鳴り声が飛び交い、私もよく罵倒されました。配置転換にて配送センター勤務になり、毎日多忙で疲弊していたところ、父からのアドバイスにて、地元（旭川）の歯科技工士の学校へ2年間通うことにしました。

就職活動では歯科技工の会社の、営業の説明会に参加。2日前、同じ学校から技工士の説明会に参加した生徒が、ラフな服装で参加したため、会社から今年は一切採用しないと学校側に苦情の連絡がありました。にもかかわらず、私は営業ではなく技工士として採用が決まりました。

歯科技工士として再スタートを切りましたが、技工作業が毎日深夜まであり過酷な仕事でした。作業に追いつかず、2年目に退職を促されましたが、社長の一声で総務部へ異動。材料の入出庫管理、社内報の内製、庶務雑務等を任されました。さらなる過酷な労働に、再度、退職を促されたも

のの、またも社長の一声でそのまま総務の仕事継続しました。その1年後に社長が急逝しましたが、次の社長も私を重宝してくれ、会社の重要書類の作成や金属材料の数量管理システム作りなどを任せられるようになりました。

父の転生を機に信仰を改善しようと思い、日参や集い、イベントのお手伝いに参加しました。そんな矢先、平成24年に教会事務局への奉職の話を受け、意味あることと感じて前向きに受け止めました。会社では年に2回、人事評価通知と就労継続の意思確認があります。そこで退職する旨を伝える予定でしたが、奉職の可否が決まる直前に人事評価通知がされることになり、継続しないと答えるのは厳しい状況でした。しかし、人事評価通知の日程が奉職の確定後に変更され、退職を無事伝えることができたのです。10年以上勤務した会社を周囲に惜しまれながら円満退職することができました。これまでの経験の全てが教団の仕事に生かしていることを実感しています。お導きに心から感謝しています。



## 開教 80 周年実行委員会からのお知らせ 皆さんの思いをお聞かせください

開教 80 周年記念事業実行員会では、現在、さまざまな企画・アイデアを話し合っています。

本年の教祖様御誕生祭でお伝えしましたが、各大祭と教団行事のテーマは下記の通りです。

教祖様御誕生祭「感謝と祝福」、教祖様御神座祭「御聖業への崇敬」、教母様御誕生祭「御慈愛と御指導への感謝」、秋季大祭「信仰の種まきと大きな収穫に向けて」、新年祭「鶏鳴の響き・明けゆく世界へ」、開教記念祭「未来への決意と実践」。

各支部、各地区にて、信者の皆さんからも、各大祭でどのようなことをさせていただきたいか、奉祝芸能や記念品についての思いをお聞きする予定です。

例えば、子供向け縁日や芸能（くす玉割り、踊り、宝探しなど）、運動会や全員参加型のイベント、地区ごとの自慢料理ブースや地域交流など。合同の集いや、組の集いで思いをぜひ地区担当者にお知らせください。信者の皆さんも、ぜひ企画から参画しましょう！